



》ごみ収集車(パッカー車)の火災事故防止にご協力を



火災の原因となったスプレー缶・使い捨てライター



10月10日に津市南中央で発生した収集車の火災

カセットボンベやスプレー缶などが原因と思われるごみ収集車の火災事故が毎年数件発生しています。

缶などが圧縮されて中身のガスが漏れ出し、金属摩擦などで発生した火花が引火して、ごみ収集車の中のごみが燃えたと考えられます。

10月10日に市内の住宅密集地で、ごみ収集車の火災が発生し、消防車が出動する事態になりました。このようなことを未然に防ぐために、火災発生原因となるごみを集積所に出すときには、次のことに注意して出してください。

使い捨てライター



使い捨てライターだけを透明・半透明の袋に入れて



危険ごみの日に出す
(3カ月に1回)

車両火災の原因となる、使い捨てライター・中身の残ったカセットボンベ・スプレー缶などは、危険ごみの日に出してね！



中身の残ったカセットボンベ・スプレーなどの缶



中身の残ったカセットボンベ・スプレー缶だけを透明・半透明の袋に入れて

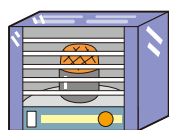


危険ごみの日に出す
(3カ月に1回)

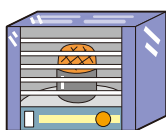


穴を開けたものは、金属の日にも出せません

石油ストーブ



灯油、乾電池を抜いて



本体は金属の日に出す



乾電池は危険ごみの日に出す
(3カ月に1回)



残った灯油の処分は販売店にご相談ください